

～新しい教育活動の適正な実施～



恩方中だより

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/ongtj/>

八王子市立恩方中学校
令和7年12月16日発行
第8号
校長 植田 恭正

支え合いの一年に感謝し、共に描く新たな恩中の姿へ
2025年大変にお世話になりました



3学期は2026年1月8日(木)が始業式となります

成長とつながりを実感した二学期を振り返って

長かった2学期も終わりを迎えます。9月の厳しい残暑から一転し、12月には冷え込みが強まり、季節の移ろいを大きく感じる学期となりました。そのような環境の中でも、生徒たちは日々の学習や行事に真摯に向き合い、大きく成長した学期でした。

今年度の体育祭から3つの各団に分かれての実施となり学年・学級を超えて一丸となり、練習に励む中で学校全体のまとまりが深まりました。力を合わせて取り組む姿勢は本番にも表れ、生徒一人ひとりが輝く行事となりました。

3年生は体育祭のけん引役となり、立派に責任を果たしてくれました。これから自分の進路を決めていかなければならぬ大切な時期を迎え、12月から始まった面接練習では真剣に取り組む姿があります。

2年生は恩方市民大運動会への参加や職場体験を通して、地域や社会との関わりの大切さや責任を体感し、多くの生徒が「社会で生きる力」を実感して帰ってきました。

1年生は多くの行事を通して集団としての力も成長しました。車いす体験や恩方地区総合防災訓練にも参加させていただき、地域の皆さまの温かいご協力により、多くの貴重な経験を積むことができました。

また、学校運営協議会主催の各種検定に挑戦した生徒も多く、資格取得に向けて努力する中で、学ぶ姿勢や目標をもつことの大切さを自ら実感していました。



2学期は報道機関から本校が取材を受ける機会があり、生徒たちは喜びや緊張感がある中でも素直なままの姿が放映され大変有意義な機会となりました

日常の学校生活でも、生徒は悩みを抱えながらも一歩ずつ前進し、周囲の助けを借りながら成長を続けています。昼休みに行った抜き打ち避難訓練では落ち着いた行動がみられ、全校の意識の高さが表れています。

現在、学校では令和8年度の年間行事計画を進めています。令和7年度と同じ時期に同じ行事を予定しております。さらに令和9年3月の合唱祭において創立80周年記念式典を予定しております。

年末年始はご家庭で過ごす時間も増えるかと思います。三者面談でお伝えした内容をご家庭でも確認いただき、新年の目標や将来について話し合う機会にしていただければ幸いです。少し早い挨拶となりますがどうぞよいお年をお迎えください。

校長 植田 恭正

生徒たちの活躍の記録



全国的に広がる熊の目撃情報と恩方地区

近年、全国的に熊の出没や人身被害が相次いでいます。特に本市周辺でも目撃情報が増えており、Tokyo くまっぷにも出ていますが、7月中旬には聖パウロ学園高等学校のずっと奥の山沿い付近で熊が箱罠にかかっているところを捕獲されました。しかし、熊は鳥獣保護管理法など法令に基づいてしか捕獲などはできません。この熊も鹿の捕獲で許可を受けていたハンターが発見したため、目的外ということで、そのまま山にかえされたようです。熊は秋にかけて食べ物を求めて人里に現れることが多く、登下校中の生徒が遭遇する危険もあります。通学路では、日没後の単独行動を避け、複数で登下校するなど十分な注意が必要です。また、秋から年明けにかけて野生動物の発情期にもあたり注意が必要です。野生動物を見かけても決して近づかないように指導をしています。ご家庭でも、こうしたことを聞いた場合は学校、警察へ連絡してください。



芸術の秋！吹奏楽部が少人数編成ながらも大活躍

10月26日に行われた恩方市民センターまつりに本校吹奏楽部が出場いたしました。吹奏楽部は、アンパンマンマーチ・パプリカ・キセキを立て続けて演奏し、アンコールで恋を披露しました。会場の人達は手拍子をしながら、楽しそうに演奏を聴いていました。前日の25日には恩方育成園でも発表を行っており、地域行事に恩方中学校の代表として貢献する姿は大変立派だと思います。



11月1日には、J:COMホールで行われた八王子市立中学校芸能祭に出演しました。2年生が前日まで4日間職場体験を行っていた関係で朝の音出しのみでの出演になりましたが、部員たちは与えられた環境を全力で臨み演奏を行いました。恩方中学校らしい演奏で保護者たちの大きな拍手が会場に響いていました。



ソフトテニス部の番場・笠野ペアが15年ぶりに東京都ベスト16の偉業を達成！

10月26日に有明テニスの森公園で行われた東京都中学校ソフトテニス新人大会(個人戦の部)で田中彩芽:近藤さよペアは初戦敗退したものの、番場木南:笠野結心ペアは東京都内ベスト16に入る偉業を達成し、来年行われる東京都中学校ソフトテニス選手権大会出場の権利を得ると共に来月行われる東京都中学校ソフトテニス部強化研修会に参加出来ることになりました。女子個人戦のベスト16入りは15年ぶりの快挙です。

11月9日には団体戦が行われるので、団体戦でも女子の頑張りには期待したいと思います。なお、男子の森岡勇基:渡邊珀ペアも善戦したものの、初戦敗退となりました。

社会に羽ばたけ！働く意義を学ぶ職場体験



今年度の2年生は20か所の市内の事業所に職場体験を行いました。保育園や幼稚園、児童館や消防署・警察署・事業所などを中心に数名の班に分かれて4日間の実習を行いました。生徒たちは実際の仕事を体験し、働くことの大変さややりがいを学びました。事業所によっては接客や清掃、事務作業などを通して社会の一員としての責任を感じ、「将来の夢がより具体的になった」との声も聞かれています。職場体験は職種の理解を深めるものではなく、働くことへの目的意識や組織に所属する意識、使命感などを学ぶためのものです。本人の希望通りの事業所に行くわけではないのはそのためです。今回の体験を通じて、2年生は年明けには3年生のプレ学習期間である3年0学期となります。いよいよ本格的な進路選択に入っていきます。



第 77 回八王子市中学校駅伝競走大会、第 41 回八王子市中学校女子駅伝競走大会が行われ本校男子陸上部が第3位

11月2日(日)、八王子市中学校駅伝競走大会が上柚木陸上競技場周辺コースで行われました。八王子市中学校駅伝大会は、長い歴史と伝統を誇る地域の一大行事として、毎年秋に開催されています。本大会は、中学校 PTA 連合会(中P連)・校長会

・中体連の三者による共催、そして八王子市教育委員会の後援のもとで運営されており、市内中学校の生徒たちが部活動に関わらず学校対抗で力走を繰り広げます。本校はここ数年、陸上部が選手団を結成し出場を行っています。こうした中で、男子陸上部は18キロを1時間3分17秒で第三位に輝きました。



東京都中学校駅伝 2025 で男子陸上部が89チーム中第14位の好成績を収めました！

東京都中学校駅伝 2025 が11月8日土曜日に江東区夢の島競技場周辺で行われました。1区3キロを6人がつなぐ18キロコース第78回を数える伝統の大会です。都内から集まった大会出場チーム89校中、恩方中学校はなんと第14位で1時間1分43秒でした。また区間順位では、1区

松本将翔くんが第6位、3区鹿島陽向くんが第4位、5区今井冬我くんが第9位と上位ランクイン。2区青木聖直くん、4区草木義織くん、6区鈴木裕太くんも厳しい戦いや接戦の中にも仲間を信じタスキを着実に渡しチームの好成績に貢献しました。駅伝は一人ではできない競技で、しかも学年を超えた仲間同士の絆が問われる競技です。陸上部は日々の厳しい練習を積み重ねこうした結果を収めたことは大変立派で恩方中学校の誇りだと確信しています。お疲れ様でした！！



来年度の道路交通法改正や自転車の事故防止をスケアードストレイトで学ぶ

高尾警察署と八王子市交通事業課によるスケアードストレイトが四年連続で実施されました。八王子市では通常3年に一度すべての学校でスタントマンによる体験型交通安全教室スケアードストレイトを実施することになっていますが、本校は市内唯一の自転車通学許可中学校ということもあります、特別に四年連続で実施していただきました。5年前までは毎年のように通学中の自転車による重大事故が発生しておりましたが、重大事故発生ゼロ件を目指して生活指導部を中心に様々な取り組みを実施しております。こうした努力の結果、自転車通学による生徒の負傷を伴う事故は激減しました。今回のスケアードストレイトでも、スタントマンの方々による事故の再現に生徒たちは一様に真剣な表情で受講し事故のない通学へ誓いを立てていました。



野生動物との共生と遭遇時の対処法を学ぶ講演会

八王子市獣害対策課と株式会社 EGO による野生動物の生態ならびに遭遇時の対処法に関する講演会が行われました。これは、毎年、獣害対策課と共同で行っているゆず狩りの前に「なんのためにゆず狩りが必要なのか」を学ぶための講習でもあり、野生動物との共生を考えるための機会でもあります。近年、クマとの遭遇についても話題に上がっていますが、鹿やイノシシとの遭遇も大変危険です。



私たちがこうした野生動物と出会わないように、出会ったとしてもどういった心構えでいるべきなのかを専門家の方から学ぶ機会となりました。野生動物との共生に向けて子どもたちが考える機会になればと思います。



今年も猿より先にゆずを狩ろう！収穫したゆずは給食へ

同じく本校の特色ある教育の一つでもある野生動物との共生と獣害対策への取り組みとして行われている地元恩方産のゆずの収穫が 2 年生を対象に行われました。天気に恵まれた 20 日、午後の暖かな日差しの中で給食終了後に 2 年生 74 名（当日欠席あり）は西東京バスで上恩方町にある農園へ向かいました。地元で



とともに香りを楽しみながらの 1 日となりました。



れました。今回の結果は、年内に採点が行われ、英語の4技能判定と共に都立高校などの入試に活用され 20 点分の持ち点となります。



も農業の担い手不足により手つかずになったゆずや、豊作期のゆずがサルに狙われる確率は高く、人里にサルがおりてくる理由にもなっています。こうした状況を地元に住む生徒たちが考え、持続可能な恩方を考える機会として始まったイベントです。今年も「サルより先にゆずを狩ろう」と生徒たちは一生懸命に収穫のお手伝いをしてくれました。収穫したゆずの一部は市が買い上げて給食の食材として利用される他、家庭へのお土産にも持ち帰り有効活用されています。恩方産のゆずは食べやすく大変貴重なものなので、子どもたちも恩方の豊かな景色

八王子桑志高校で ESAT-J YEAR3 が実施され 3 年生がバスで受験会場に移動しました！

2025 年度の ESAT-J YEAR3 が、23 日にいよいよ実施されました。ESAT-J とは東京都の公立中学校で令和 4 年より実施されている英語スピーチングテストです。本校の指定会場は今年度、八王子桑志高校。今年は東京都が恩方中学校は遠隔地支援の対象校として指定したために、東京都が手配したバスによる送迎が行われました。

市内でも最大規模の恩方地区総合防災訓練に 1 年生が参加

恩方地区では、市内でも地区防災訓練としては最大規模の総合防災訓練が実施されており、消防・警察などと連携しながら起震車体験、初期消火訓練、避難・誘導訓練などが行われました。本校からは毎年 1 年生が参加し、中学生が災害時に地域の担い手になることから、参加者は、地震発生時の避難行動や初期消火、救助活動など、災害時に必要な対応を学びました。



1年生がキャリア教育の一環として専門高校の先生方による体験型授業を実施

1年生では恩方地区9年間で学ぶキャリア教育の一環として、地元都立八王子桑志高校と本校卒業生がお世話になっている都立瑞穂農芸高校の教員による体験型授業を実施しました。本校は保護者の方々がものづくりの仕事をされていることが多く、恩方地区としても炭焼きから始まりブルーベリーやゆずなどをはじめとする農業を生業とされていることから、広く専門高校のあり方を知ってもらおうとキャリア教育の一環として、今年度より1年生に体験型授業を導入しました。新たな特色ある教育の一つとして今後ともご期待ください。



2年生が苫小牧市立勇払中学校とのオンライン交流授業を実施

苫小牧市立勇払中学校と2年生の交流授業がオンラインで行われました。来年、5月に2年生たちは3年の修学旅行で勇払中学校の2年生たちと再会することになります。お互いの地域学習の成果を発表しあい、オンラインでの交流を深めることができました。かつて千人同心が築き上げてくれた友情の絆を令和の中学生たちが受け継いでいる姿は価値あるものと思います。今後も恩方中学校では、勇払中学校との交流に力を注いでいきたいと思います。

ソフトテニス部がハ王子市冬季研修大会で女子優勝、男子準優勝



ソフトテニス部の快進撃が止まりません。29日の開催されたハ王子市中学校ソフトテニス冬季研修大会(団体戦)の結果です。女子については無敵状態が続いています。男子は決勝戦で石川中に前回同様の敗退でしたが立派な成績です。

第15回ハ王子中学生絵画展で美術部2名が表彰されました！



第15回ハ王子中学生絵画展において今年度も以下の2名が入選しました。30日にハ王子市教育委員会の安間教育長出席のもとで表彰式が行われました。教育長賞 3年 渡辺わか奈さん 佳作 2年 顧紗雪さんが受賞しました。